

ヤチシンコスの演奏会

～南米アンデスの音楽で楽しもう！～

2022. 9 月 4 日 (日)

13 時 30 分～

プログラム

演奏者

ヤチシンコス (湿地帯に自生する
アカエゾマツのこと)

メンバー

リーダー 鴨沢 修 (ケーナ)
高橋 叡子 (歌・サンポーニャ、ボンボ)
松田 徹 (歌・ギター)
北浦 省吾 (歌・ギター)
森末 裕司 (歌・チャランゴ・
サンポーニャ)

曲 名

花まつり
コンドルは飛んでゆく
アンデスの旅人 (サリーリ)
リヤキルナ (悲しい人々)
マリポーサ (蝶々)
セレステ (青空)
母に捧げる花束
オリヤンタイ

※ 順不同、曲名が変更することがあります

南米民族楽器



ケーナ

南米アンデスで先住民に受け継がれてきた縦笛。構造は日本の尺八とほぼ同じ。「風の音色」と表現されるように柔らか味のある音、伸びのある高音が魅力の楽器。



サンポーニャ

南米アンデスで先住民に受け継がれてきた民族楽器。長さの異なる筒状の竹を並べて音階になるようにしています。大きさがいろいろあり 1 m 以上あるトヨスからサンカ、マルタ、10 cm 位のチュリなど大きさによって名前が付いている。森の中で奏でると鳥たちが集まってくると言われている。



チャランゴ

マンドリンやウクレレに似た弦楽器です。スペインが 16 世紀に南米に入ってから発明された比較的新しい楽器です。昔はアルマジロで作られていましたが現在は木製が主流です。ギターよりも高音部が高く、哀愁を帯びた音色が世界中で愛されています。ケーナとの伴奏に欠かせない民族音楽を代表する楽器の一つです。

コロナ感染予防対策として人数制限いたします。整理券 (ペア) 8 枚を発行いたします。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

ふきのとう子ども図書館 多目的ホール

札幌市中央区北 6 条西 12 丁目 (南向き) TEL 222-4839 FAX 222-4800